

さっぽろっ子 小中一貫したつながりのススメ



札幌市教育委員会



「小中一貫した教育」は、札幌らしい「教育のススメ方」です。

小学校と中学校が互いにつながり、学び合いながら
学校・家庭・地域が互いにつながり、同じ目線に立ちながら
途切れることなく、全ての子どもに寄り添い、見守り、育みます。

子ども一人一人が
「自分が大切にされている」
と実感できるように。



学校・家庭・地域のつながりの中で、
連続性をもって子どもを育みます。

さっぽろっ子「学び」のススメによる一貫した習慣づくり

9年間の系統性・連続性のある教育を実現し、子どもの知・徳・体の調和のとれた育ちの一層の充実を図ります。

9年間の学びをつなげます

分かる・できる・楽しい授業による
連続性のある教育の推進

子どもの育ちをつなげます

小・中の指導のよさを取り入れた
切れ目のない子どもの育ちの支援

四つの視点から 札幌らしい教育を進めます

互いの顔が見える関係づくりによる
小中の教職員の連携の強化

目指す子どもの姿の共有などによる
地域とともにある学校づくりの推進

小中の教職員が つながります

学校・家庭・地域が つながります

札幌市では、令和2年2月に「札幌市
小中一貫した教育基本方針」を策定し
ました。詳しくはこちらを御覧ください。



<https://www.city.sapporo.jp/dou/ku/sidou/sidourenmei.html>

義務教育学校では、校舎も含めて一つの学校となることで、「小中一貫した教育」を推進しやすい環境が整い、日常的に幅広い異年齢による学び合いや関わり合いが生まれます。

- ・令和5年度 義務教育学校福移学園開校
- ・令和7年度 義務教育学校定山溪学園開校
- ・令和9年度 義務教育学校真駒内学園開校予定

詳しくは裏面を
ご覧ください



https://www.city.sapporo.jp/kyouiku/sidou/documents/gimukyokugakko_settishoshin.pdf

札幌市における義務
教育学校の設置方針

札幌らしいコミュニティ・スクール

詳しくは「札幌らしい
コミュニティ・スクール」
リーフレットをご覧ください。



<https://www.city.sapporo.jp/kyokukuz-top/communityschool/sakata.html>

目的…学校と保護者や地域が目指す子ども像を共有して、一緒に地域の子どもの育てること

札幌
らしさ

- ①「小中一貫した教育」と連動した仕組みとする
- ②「さっぽろっ子自治的な活動」と学校運営協議会をつなげることで、「子どもの声」を学校運営に反映する

さっぽろっ子自治的な活動



思いや願い

つながる

応援

コミュニティ・スクールって？

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校のことを言います。「小中一貫した教育」の推進の四つの視点の一つである「家庭や地域との関わり」の一層の充実を図るために、コミュニティ・スクールの導入を進めていきます。そして、学校が家庭や地域と一体となって、子どもの育ちを継続して支えていきます。

学校運営協議会

「小中一貫した教育」グランドデザインを踏まえ、子ども像や理念を共有し、必要な取組等を熟議する場



熟議

※多くの当事者による「熟慮」と「討議」を重ねながら政策を形成していくこと
(文部科学省参照)

地域の中の学校 (パートナー校)



地域学校協働活動推進員



地域学校協働活動

学校運営協議会で熟議された (例) キャリア教育における職場体験活動
必要な取組等を形にする活動 安全・安心に係る取組 (防災教育)
放課後学習支援 等

「さっぽろっ子自治的な活動」って？

「さっぽろっ子自治的な活動」は、子どもたちが、よりよい生活に向けて多様な人と協働しながら思いや願いを実現する取組です。そして、子どもの手による活動を通して、子ども一人一人の自己肯定感を醸成していきます。



コミュニティ・スクールは、学校運営協議会の対等な立場である関係者間による丁寧な合意形成を大切に、ゆっくり・じっくり育てていくことで、持続可能となります。

小さく始めて、大きく育てる

※コミュニティ・スクールは、令和6年度から令和10年度にかけて準備が整った学校から順次導入します。(市立小中学校)